

関東支部集会 “ユニバーサルデザイン天文教育” が生んだもの、結んだもの
高橋淳（茨城県立水海道第一高等学校）

The Results of a Meeting on Astronomical Education and Popularization
for Every Type of People.

JunTakahashi(Mitsukaido 1stSeniorHigh School)

Abstract

A meeting on astronomical education and popularization for every type of people was held at Yamanashi Prefectural Science Center in June 2007 as a Kanto regional meeting of Tenkyo*. The meeting was very successful, and as the results of the meeting a community of various types of people who are keen to astronomical education has been growing up and some new projects of "Universal Design of Astronomical Education" have been started to roll along.

*Society for Teaching and Popularization of Astronomy

1 . 開催の目的

関東支部では、ここ数年、年 2 ~ 3 回のペースで集会を持ち、いずれもタイムリーな内容をテーマに設定し、話題提供、研究発表、ディスカッション等を行っている。会場については、テーマに即し、かつ参加者の関心度を高める要素を十分にもった施設を選定している。さて 2007 年 6 月の支部会は、ユニバーサルデザイン WG[1]との共催で

- ・天文教育におけるユニバーサルデザインについての情報を共有し、よりよい天文教育普及環境の整備のきっかけづくりをしたい。
- ・天文及び天文教育に携わるあるいは関心を持つしょうがい者の方々と交えて、意見交換の場をもちたい。

等の理由から、視覚しょうがい者の方々とのコラボレーションでは先駆的な活動をされている山梨県立科学館を会場として、標記のような集会を行うこととなったものである。

この集会についてのダイジェストは、すでに天文教育 7 月号（高橋，2007）[2]に報告済みであるので、この誌面での記載は割愛したい。また、同集会で行われた発表内容の詳細に加え、同テーマについての寄稿が天文教育 9, 11 月号に連載予定であり、賢明な読者は、そちらをご覧ください。

2 . ユニバーサルデザイン天文教育のインフレーション

この集会をきっかけとして、人が人を呼び、研究会内外、健常者・しょうがい者如何を問わず、ユニバーサルデザイン天文教育に関心を持つ人々が同 WG の ML に 34 名も集まり（9 月 8 日現在）、視覚しょうがい者が 2 名、研究会に入会された。ML では、多様なニュース・考え方・他分野の動向などの情報が飛び込むようになってきた。また、しょうがい者の皆さんやしょうがい者教育の専門家を含めた他（多）分野との実的「協働」の実現の兆しもある。まさしく、ユニバーサルデザイン天文教育のインフレーションである。

参考文献

- [1] 嶺重慎 . 2006 . ユニバーサルデザイン・ワーキンググループについて . 第 20 回天文教育研究会収録 , p76-79 .
[2] 高橋淳 . 2007 . 天文教育研究会関東支部会が開催されました . 天文教育 19(4) , p47-48 .

コメント

視覚しょうがい者のなかには天文に関心を持つ人も少なくない。天文分野は、「見えないと不自由」と思われがちだが、「見えることによる不自由」がある。（小野夏子さん）